



エクスタロット ルールブック

021 トリックートリックス

かつみ

ゲーム名 : Tricky Tricks (トリッキートリックス)

バージョン : v1.00

考案者 : かつみ

受付日 : 2018年11月10日

概要 : 規定トリック数を取るトリックテイキングゲーム

人数 : 3~6人

使用カード : 100~112枚

プレイ : 大アルカナを切札としてトリックテイキングを行い、
規定数を取ることを目標に進めます。

参照ルール : スリートリックス

ゲーム名 Tricky Tricks (トリッキートリックス)

使用カード

- 3人 108枚 (-1のカードを取り除く)
- 4人 112枚 (全て使う)
- 5人 100枚 (0, ∞ , -1のカードを取り除く)
- 6人 108枚 (3人の時と同じ)

順番決め

大アルカナのカードを全てシャッフルして、各プレイヤーが山から1枚ずつ取ります。数字の大きい順に1番、2番と決まります。

そして、使うカードを全てシャッフルして、順番で1番になった人がカードを配ります。

なお、このゲームではカードを何回かに分けて配ります。

手札と配る回数は以下の通りです。

- 3人 12枚ずつ3回
- 4人 14枚ずつ2回
- 5人 10枚ずつ2回
- 6人 9枚ずつ2回

配り終わったら順番が1番の人からカードをプレイしていきます。

カードの強さ

大アルカナ $0 < 1 < 2 < 3 \dots 23$

小アルカナ $-1 < 0 < A < 2 < 3 < 4 \dots 15 < J < C < Q < K < \infty$

Aは1として考えます。

カードのプレイ

順番が最初の人プレイしたカードをここでは「打ち出し札」と言います。

カードをプレイする条件

マストフォローの原則が適用されます。

1. 打ち出し札と同じスートのカードがある場合は、必ずそのスートから1枚プレイしなければなりません。
2. 1. で合うカードがなければ、次に大アルカナのカードから1枚出します。
3. 1. も 2. も無ければ、自由にカードを出せます。ただし、ここで出したカードは最弱になります。

強さは 大アルカナ>打ち出し札のスート>それ以外 となります。

トリックの勝者はプレイの順番の最初になり、また「カードのプレイ」に戻ります。

手札を使い切った時に、まだ山にカードがあれば、手札を使い切った時のトリックの勝者がカードを配り、そのプレイヤーからプレイを続けます。

手札も山札も使い切ったら、得点の計算に移ります。

得点の計算

3人では12トリック

4人では7トリック

5人では4トリック

6人では3トリック

取ることを目標にします。

多くても少なくても減点されます。

規定トリック数を取った場合

トリック数の2乗の点数を獲得します。

例えば4人ルールで7トリック取った場合、7の2乗で49点を獲得します。

規定トリック数より少ない場合、(規定トリック数-取ったトリック数)の2乗を減点されます。

例えば4人ルールで4トリック取った場合、(規定トリック数7-取ったトリック数4)の2乗=3の2乗=9点の減点となります。

規定トリック数より多い場合、(取ったトリック数-規定トリック数)の2乗を減点されます。

例えば4人ルールで9トリック取った場合、(取ったトリック数9-規定トリック数7)の2乗=2の2乗=4点の減点となります。

ただし、全員が規定トリック数を取ることが考えられます。

その場合は全員が得点できず、この回だけでの得点は全員0点となります。

(以上)

ルール募集

エクスタロットを使ったゲームのルールを募集しています。応募のあったルールは、エクスタロットのプレイに適しているか審査され、考案者の氏名、受付の日付とともに PDF で公開されます。考案者は、すでに掲載されたルールを修正・改良することもできます。ルールの申請方法は、エクスタロット・ゲーム情報サイト (<http://xtarot.jp/>) をご覧ください。

エクスタロットは、友達とプレイしながら、ルールを面白く改良していくことを目標にしています。そのため、ハード（カード）とソフト（ルール）を分けています。エクスタロット・ゲーム情報サイトでは、最新のルールやカードの情報を紹介しています。

Tricky Tricks (トリッキートリックス)

著者 かつみ

2018年11月12日発行 v1.00

発行者 銀河企画 (GPI. JP)

(c) 2018 かつみ／有限会社銀河企画